

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
研究番号	2019-0060		利用するもの	ゲノム解析データ	
主たる研究機関		東京大学		分担研究機関	Brigham and Women's Hospital
研究題目	神経筋変性疾患の遺伝子解析研究			研究期間	2021年 4月 1日 ~ 2023年 5月 21日
実施責任者	辻 省次	所属	分子神経学	職位	特任教授
研究目的と意義	孤発性神経変性疾患の一つである多系統萎縮症を対象にして、疾患関連遺伝子を明らかにすることが目的である。				
研究計画概要	すでに得られている全エクソ解析、全ゲノム解析による患者・対照群のデータに、dbTMMカタログ、リリース2.2.0 全ゲノムリファレンスパネル(3.5KJPNv2)対象者のvcfデータを追加して対照群として利用することで関連解析を計画している。				
期待される成果	多系統萎縮症は、有効な治療法のない難病であり、疾患関連遺伝子が明らかになることで、病態の理解が進み、治療法開発の端緒になることを期待している。				
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	本研究は、東京大学大学院医学系研究科・医学部 ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会の審査を受け承認された。				
倫理面、セキュリティ面への配慮	<p>&lt;物理的安全管理措置&gt;</p> <p>①個人情報扱区域への入退室は、生体認証で管理する。  ②機器及び電子媒体等は、指定された区域で管理する。  ③電子媒体等を持ち運ぶ場合は、機密情報輸送サービスを利用する。  ④個人情報の削除及び機器、電子媒体等の廃棄は、学内で規定された方法に従い、データを上書きし、初期化することで完全消去する。</p> <p>&lt;技術的安全管理措置&gt;</p> <p>①データへのアクセスは区画内に設置された専用端末からのみ可能とする。  ②使用者は各人に割り当てられた専用アカウントを使用して端末にログインする。アカウントはパスワードで保護する。  ③データを格納するファイルサーバ及び解析用サーバは、ファイヤーウォールによりインターネットから隔離された安全なネットワーク下に配置する。拠点間は適切に暗号化されたネットワーク(VPN)を用いて接続する。  ④ファイヤーウォールでは、外部からの不正アクセスを防ぐだけでなく、内部ネットワークから外部への接続も遮断する設定とする。</p> <p>&lt;その他の安全管理措置&gt;</p> <p>①日本国内でデータを取り扱い、海外の共同研究者などと共有する場合は、解析後のサマリーデータなど、個人を特定できない加工情報を用いる。</p>				
その他特記事項					
(事務局使用欄)	令和3年6月7日				
* 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。					
岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)					